



荒井校長先生 ありがとうございます

COVID19の影響で様々な不便を強いられた2020年度も、残すところわずかとなり、なんとか無事に一年を終えようとしております。保護者の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

さて、荒井秀典校長先生が4年の任期満了に伴い、3月6日の授業日を最後に日本に帰国されます。本来であれば保護者の皆様にもご臨席を賜り離任式を挙げるのですが、最後までCOVID19の影響を受け、中止せざるを得なくなった事は本当に残念であります。そこで、書面上ではございますが、荒井先生の本校でのご功績について、振り返ってみたいと思います。

荒井校長先生は、本校の歴代派遣校長の中で初めて、中学校の教員として長年ご経験を積まれた先生でした。赴任後初めての入学式で、新入学児童生徒の保護者の皆様にお集まりいただきました。そこで荒井校長先生は、『幼稚園から小学生へと子どもが一つ成長したのであれば、その親もまた、小学生の子を持つ親に成長しなくてはなりません。子どもが中学生になったのであれば、中学生の子を持つ親に成長しましょう』といったお話をして下さいました。私自身、親として身の引き締まる思いで、且つ新鮮な気持ちで、我が子の成長を見つめることができるようになったのを昨日のこのように思い出します。

また、荒井校長先生はニュージーランドにおける学校教育に対しても強い関心をお持ちになり、折に触れてアイラムスクールを始めとする現地校を訪問され、通常の学校生活における子どもたちの様子や学校行事を積極的に視察されました。



アイラムスクールのドラム校長先生との交流を通して築き上げた信頼関係により、この度のコロナ禍においても借用校とスムーズな連携を実現することができ、本校校長として、また運営理事会の一員として、安全な補習校運営に大きく貢献していただいたと思います。

さらに、荒井校長先生の幅広い交友関係から、実践女子大学の渡辺先生、茨城キリスト教大学の小野先生を招聘し、保護者の皆様並びに本校教員にとっても、温かい愛情溢れる非常に有意義な講演会、研究会を持つことができました。



日々の登下校の際に言葉を交わされた保護者の方、児童生徒、園児の皆さんもたくさんいらしたと思います。それぞれの皆様の胸にある荒井校長先生との思い出を、どうぞいつまでも忘れずに、お送りしていただきたいと思います。

荒井校長先生、4年という長い年月、大変お世話になりました。運営理事会を代表し、心から感謝申し上げますと共に、先生とご家族の皆様のご健康と益々のご発展を、心より祈念いたしております。

カンタベリー補習授業校
運営理事長 山口彰代